新京日日新聞 夕刊 三月二日(金)

大典を壽ぐ日滿要人

執政が帝位に即かせ給ひし眞意義

國務總理大臣 鄭孝胥

古今歴史の盛衰は即ち是れ王道と覇術との「消長」のみ、周より以後專ら覇術を用ひ王道を以て迂濶となし遂に千古の政治をして競爭壓制の險途に入らしむ、治愈よ少くして亂愈よ多き此故に由るなり。今滿洲國覇術の驕に弱らんとするの世に興り而して王道立國を倡言す、患ふる所のものは擧世の心理、王道の何物たるを知らず、王道の行ふべきものたるを信ぜず天下の學者動もすれば潮流に迎合せんことを曰ふ、之乃ち最も無識の語なり、試に察するに今日の潮流は已に日に失敗に趨きつゝあり、而かも之を迎合せよと謂ふ可ならんや、亞洲の君主國たる已に數千年上下相維くの義人道德の發見たり、孔子言ふ、上を犯すを好まず、而して亂をなすを好む者未だ之れ有らざるなりと、これ戰爭壓制の思想と根本同じからず、故に執政の皇帝の位に即かせ給ふは即ち世界をして滿洲が上下相維くの國家たるを認識せしむるものにして絲毫も覇術の心理を參用せず亦世界失敗の潮流を迎合すべからざるものなり、余は乙丑より辛未に至るまで七年間天津に侍講たりしが惟だ王道を昌明し覇術を痛除するを以て主とせり、古人の君を堯舜に致すことを言へる其義最も高し、然れども知の難きに非ず行の惟れ難き前途の「進步」は只だ萬分の謹愼あるのみ、敢て輕率にせず此れはこれ傍觀者の評論に付すべきものなり

「大典」謹話

外交部大臣 謝介石

今上陛下は大御心を仁厚に置かせられ、下を御し給ふこと寛和にして天縱の御聰明に加へて御德高く、曾ては天下の百姓が塗炭の苦にあるを見るに忍ばせられず九五の尊榮を敝履の如くして位を遜り、國を讓り給ひたるも民間の疾苦には、特に軫念を注がせられ天津の行在所時代にも各地の水旱害には財物を傾けて捐助賑救を吝ませられず、常に革命後の政治が日に益々頽敗して人民の困苦に陷ることを憫はせられ慨然として平民の資格にて救國救民の御志あらせられたるが、此仁民愛物の大御心により、玆に天の休命を承けて、皇帝の位に即かせ給ひ。我が滿洲國三千萬の人民が此の寛仁慈厚の大君を仰ぐことを得たるは、誠に無疆の幸福を享くるもので、殊に自分の如き天津行在に奉仕すること十數年而して親しく今日の盛典を觀るを得たるは歡忭の極只々感泣あるのみである

即位式に當り所懷を述ぶ

關東軍參謀長 小磯國昭

三月一日は實に滿洲國建國第二周年記念日に當る、この吉日をトし乾德高き執政溥氏では、王道宣布の天命に邁出し順天安民の大義に根基して盛典を擧げ、滿洲國皇帝の位に即かせられ、以て世々不易の帝業を創始せらる、かくて五種民族の結合に成る滿洲帝國は國防及產業に於て日本帝國と密接に提携しつゝ、國基愈よ堅く國勢益々潑剌たるを約束して、玆に偉大なる雄姿を天地に具現し、强く其第一步を大地に印したのである、顧るに滿洲國は建國以來約二星霜、此間日滿官民の涙ぐましい協力によつて着々實績を擧げ全版圖の治安は概ね確立し產業亦逐次進展し、聘て民人の恒產保有も庶幾せられ、今や滿洲國は名實共に瑞祥の世を實現したのである

建國日尙淺き滿洲國をして斯くまで迅速に發達せしめたのは、畢竟新興の意氣に燃え立つた若き滿洲國三千萬の民が、上下心を一にして王道樂土の建設に精進した努力の結晶には相違ないことであるが日滿提携の眞意義に基き唯一地に東洋の平和と人類の福祉とを目ざして眞執、率直に協力して來つた我が同胞としても亦感慨深いものがある

今や滿洲國の帝制成つて王道の光に一層の輝を增したのであるが、良さに歡天喜地、唯々祝福あるのみである、併し乍ら建國創業の至難なると共に守成恢弘も亦難事中の難事である希くば向後永く日滿兩國堅く相提携して常に國步を一にし、東洋平和惹いては世界和平の爲め、東洋精神文化と云ふ大哲理を世界に恢弘することを目標として、力強く其步みを進め、以て人類の道義を確立し其福を增進して先人の靈を慰むべきである 玆に滿洲國の即位大典に臨み聊か所懷を述べて衷心からなる祝意を表する次第である

歡喜の餘り 御慶びの言葉を述ぶ

—本庄大將談—

滿洲國と古い昔から因緣由緒の深い溥執政が英邁仲遠の御資質を以て天意に依り三月一日の佳日に帝位に即かるることは誠に慶祝に堪えない新皇帝は必ずや自ら率せらるることと質實險素以て人民の幸福を念願されることと思ふ。左右百官は新皇帝の御威德を何處までも發揚する樣全力を擧げて盡し、三千萬民衆が一日も速に王道政治の恩澤に浴し王道樂土が事實に現れる樣に祈つて已まぬ、新興滿洲國は愈よ輝かしい發展を遂げて東洋の平和、延ては世界の平和に貢獻することと思ふ歡喜の餘り一言する次第である

大典謹話

國務院總務廳長 遠藤柳作

順天安民の聖業成り玆に曠古の御盛典を擧げさせられ創建以來僅かに二年百般の諸政着々として進み堅實且つ急速に王道樂土建設の理想を顯現しつゝあるのであります、是れ固より內は國民の熱誠なる協力と善隣日本帝國の擧國一致の協助に負ふところ甚大でありますが、之を要するに天命の然らしめたるものと拜察されます今や三千萬民心歸一して永久に搖ぎなき帝祚確立し更に新たなる聖業の完成に向つて邁進することゝなりました、冀くは內英明なる皇帝の御盛德と忠良なる臣民の戮力共賓に倚り外善隣友邦の協助を得て新帝國發祥の天意を體現し東亞延いては世界恒久平和增進に寄與せんことを切望します、玆に皇帝即位の大典擧行せらるゝの日謹んで感懷を述べ國運の隆昌と帝祚の萬歲を祈念する次第であります

沈宮內府大臣謹話

今上陛下が天命により、三月一日を以て滿洲國皇帝の位に即かせ給ひしことは、人民至誠の發現として前古未曾有の盛典を奉祝するものであります、今日以後國基は長へに固く、滿日の邦交は益々親睦を加へ、東亞の平和を此の時大帝國の雙肩に荷ふのみならず、世界に於ける種々不安の狀態も此の光明偉大の感化を受け之を動機として覺醒[?]して從來の態度を改め、同じく平和互助の大道に進むであらう、故に玆の大典は僅に我が一國の慶事のみに非ざることを心から祝福するものであります

謹みて登極を慶祝す

關東軍司令官 特命全權大使 關東長官 菱刈隆

乾德一世に高き執政閣下には順天安民の大義に據つて本日芽出度く滿洲帝國第一世の帝位に即かせられ、同時に詔書を渙發せられて滿洲國の國礎を泰山の安きに置かれますことは誠に慶祝に堪へぬ次第であります

顧れば昭和七年三月一日滿洲國が呱々の聲を擧げまして以來將に二年になりますが其の步み來りました途は必ずしも平坦では無かつたのであります、當時內に於ては建國の前途に對する不安尙去らず、叛軍兵匪の各地に跳梁するあり、外に在りては國際間の誤解反感のため建國に對する直接間接の妨害は實に容易ならぬものがありました

この間滿洲國官民が執政閣下御指導の下に日本國朝野と提携し、建國の大理想を實現するが爲に幾多の艱難を突破し幾多の無秩序を整理克服し途に近代國家としての組織を整備するに至りましたのは人類史上誠に驚嘆すべき事であります

向後この滿洲國が如何なる活力を示し從つて其の使命たる東洋平和の保證に如何に貢獻するやは萬邦の等しく仰ぎ見る所であります、この時に當り滿洲國に於て更にその國礎を鞏固ならしめ、前途益々明くするものは實に今回の帝制實施に外ならぬのであります上には天資英邁にして日夜政務萬機に勵し只管民利民福を念させられます 陛下の御下には 陛下の仁德を敬慕して已まざる三千萬の民があります、而も國中の五族一丸となりて久しからずして王道樂土の時代來る可きは疑ひを容れぬものであります

日本の對滿根本方針は昨年三月渙發せられました詔書により闡明されて居ります通り滿洲國の獨立を尊重し、其の健全なる發達を促すに在ります。滿洲國と日本帝國とが同心協力共に理想たる東洋平和と人類の福祉とに邁進しましたならば渾沌たる世界の現狀に對し寄與する所は寔に鮮かならざるべきを確信するものであります、茲に萬歲を高唱して登極の盛典を祝福し、寶祚の無窮と新帝國の隆昌とを祈る次第であります

日滿悲曲 生命線を行く (讀上演上映)

國友雄吉 (荒川芳三郎畫)

(百二)

「一發の銃聲」

滿洲里の夜は、いまシン〳〵と更けて、更け靜つてゐる。

その市街のはづれに在る、間近く日本軍の營舍の窓灯を、望む郊外の淋しい新道路を、トボ〳〵と、よろめくやうにして步いて行く人影がある。

それは彼の「民家佛一」であつた。

佛一は、さきだつて海拉爾で、千原中尉のために、敵の拘禁中から救ひ出されたが、更に滿洲里に向つて進發しようとする直前、彼は衛生隊の宿舍から突然、雪の夜の闇にまぎれて、姿を晦ましたのであつた。

そしてそれ以來、何處をどうして彷徨ひ步いてゐたものか、とにかく今夜こゝにそれ以來の姿を現はしたのであつた。

去る九月の末、蘇炳文軍の叛亂で、一度び兵火の洗禮をうけて以來、滿洲里市街の光景も、ガラリと變り果てゝしまつたが、それにも增して、あまりにも慘ましく變り果てた佛一の今の姿であつた。

彼が、榊本洋行の社員として、此地で働いて居つた頃の、あの潑剌たる、青年會社員の意氣溌剌たる面影は、どこへやら、今は、破れ帽子の下から、ぼう〳〵と、はみ出てゐる頭髮。更にその下に埋もれた顔に二つの眼だけが、僅に活きてゐるものゝやうに、ギロ〳〵と光つてゐる。

そして、ボロ〳〵になつた洋服姿が、見るからに寒さうで、その洋服の纏ひ付いてゐる體は、ヨツ〳〵と骨立つて、一足づゝソロ〳〵と運んで行く足もとは、風にも堪へぬ風情で、ヨロ〳〵と、今にも倒れはせぬかと思はれる。

その彼が千原中尉の熱心なる慰留と、その温情とを、いたづらに振り切つて、海拉爾を脱出してしまつたのは、「どうしても妻子を探し出さねば——」といふ熱望の結果で、それが、再び彼をして、滿洲里の土を踏ませたのであつた。

海拉爾から滿洲里まで、鐵路百八十七キロ。汽車時間、約五時間を要するほどのその間を、折柄の北滿洲の嚴寒と闘ひ、迫つて來る飢餓に苦しみながら、こゝへ來る迄のその困難はけだし、一と通りのことでは無かつたのだ。

けれども彼は、「死んでも、妻子を搜し出すまでは——」といふ、火のやうな希望に鞭うたれ、千辛萬苦、死線を突破して、漸く辿り着いたのであつた。

骨を刺すやうな興安嶺の吹雪に襲はれて、まさに凍死しようとした時。或ひは飢のため、雪中に斃れようとした時。いつも彼の目の前には、なつかしい妻子の姿が現はれて、彼を勵まし、導いてくれるのであつた。

それに依つて、彼はわづかに、死地を脱しつゝ、あこがれの一路を、辛うじて、滿洲里へ辿り着いたのである。

その滿洲里に、五年以上も住んでゐた佛一に取つては、まさに思ひ出の深い土地である。けれども、九月の兵亂以來、在留邦人は、すべて哈爾へ引揚げてしまつて、榊本洋行も、そして同僚たちも、果して、どうなつたことやら、いまは、何處といつて、身を寄せる知るべも無いのであつた。

彼は、明日の朝にでもなつたら取敢ず日本領事館をたづね、先づ妻子の安否を調べてみようと思つてゐる。

けれど差當り、今夜一泊する處もない。いま彼は、何の目的もなく、たゞブラ〳〵と、まるで、宿無しの乞食かとみえる慘ましい姿で、この闇の路を、辿りつゝあるのだつた。

その時、突然一發! 闇をつんざいて、銃聲が、ひゞき渡つた。

「あツ!」と叫ぶと、佛一の體は、バツタリ、枯木でも倒すやうに、前のめりに倒れてしまつた。

首相文相兼攝で議會を切拔けるか

議會終了後改造か總辭職！

元老の意嚮が問題

〔東京國通〕鳩山文相は質問委員會結果が衆議院本會議に『報告』され、その承認を經ることによつて疑惑を一掃したるものとの見地より文教の府の長官として疑惑を招き不徳の責任を負ふて辭表を提出することとなつたが、齋藤首相としては鳩山文相より辭表を提出されることを豫期して二十八日高橋、山本兩長老閣僚と協議の結果、文相の後任は鈴木總裁に交渉し政友會が後任を出さぬ場合は齋藤首相が兼攝で議會を切拔けるといふ方針に決定してゐるから文相が辭表を提出すれば齋藤首相としては文相を通じてなり或は直接訪問して鈴木總裁に後任の推薦を要望するであらうが、鈴木總裁と『文相』その間では直ちに後任を推薦せず暫らく政局の推移を見た上政友會の對政府態度を決定するといふ方針に決定してゐる故、直ぐには後任を推薦せぬものと觀られてゐるから、その場合は齋藤首相は文相を兼攝して議會の切拔けをなし、四圍の情勢を考慮した上齋藤内閣としての執るべき途を考慮する事となるべく而して議會後齋藤首相が更に政友會とも折衝して齋藤内閣更生のため專任文相を置くが改造を行ふかを決する事となるべく元老の意向其他四圍の情勢から『見て』齋藤内閣の使命了れりと見る場合は總辭職を決行するものと觀られてゐる

文相辭任後の政友會の入閣問題

政府瓦解ない限り實現か

〔東京國通〕政友會では鳩山文相の『辭任』は最早避け難いと觀てゐるが、政府に對し今後如何なる態度を以て處すべきやに就いては今尚確然たる方針は決定して居ない、即ち首相は近く鈴木總裁と會見、文相の問題に就き諒解を求め議會を乘り切る策に出で議會終了前後に政友會より一名入閣せしめて内閣延命策を圖らんとする模樣であるが、政友會としては目下計畫中の政民合同に關する決議案に對する處置その他閣僚の情勢により善處すべしとの意向が有力で政府が貴族院其の他の空氣により自然瓦解せざる限り目下之を倒さんとする意志がないので政府より入閣の懇請を受ければ『結局』之に應ずる事となるのではないかと觀られ、その時の候補者としては望月氏又は山崎氏等諸氏の呼び聲が高い

寫眞は　登極の式典を終へさせられ御居室に還御遊ばさるるところ

處罰されん

岡本、江藤兩君

〔東京國通〕衆議院に於ける岡本一巳質問委員會は二十八日問題の文相及び堀切大藏政務次官に對する質問あつて事實調査を終了したので一日は各派の態度を決定し委員長に報告書を作成、二日委員會を開き討論を爲し之を決定三日の本會議に島田委員長より報告し綱紀問題に關する終末を告げることとなつてゐるが報告書には岡本一巳、江藤源九郎兩氏共その發言に就て證據を示さなかつたといふ點より政友會は岡本、江藤の兩氏を何等かの方法で處罰し本問題の結末をつける方針のやうであるが委員會の討論に於て政友會は濱田國松氏か牧野曉男氏が立つこととなるらう

心境を語る文相

〔東京國通〕廿八日夜鳩山文相は私邸で次の如く語つた

今日の自分の心境はもうさつぱりしたと云ふだけで別に何んにもない、辭職の時期は議會でも言明した通り調査委員會の結末がついて委員會の報告が衆議院の本會議に報告された時だ、自分の後任に就ては首相が考へるだらう

貴院の豫算案裁決は十日頃

〔東京國通〕貴族院は衆議院より回附された政府提出豫算案を連日討議してゐるが、大体來る十日頃裁決することになつた

文相の辭表提出

三日と內定

〔東京國通〕綱紀問題で進退を注目されて居た鳩山文相は三日辭表を提出することになり首相は文相を兼攝することになつた

民政の對岡本問題

態度なほ未定

〔東京國通〕民政黨は委員と院内總務と一日夜協議し、岡本氏の發言は全く事實に據らず、この政友の態度に贊成出來ず、出席を求め來るも之を拒絶するに意見一致する模樣だが再審理要求の意見もあり結論に至らず、二日午前十時半再協議するものと觀られる

岡本氏の處罰は不當

國同の態度

〔東京國通〕國同幹部會は協議の結果、岡本一巳氏の發言を虛構な事實に基いたとは認められぬから處罰は不當だとの態度を決定した

日英民間會商

第四次會議は愈よ決裂の時

〔大阪國通〕日英綿業協議會は來る七日の第四次本會議を以て決裂の他なき情勢に立ち至つたが、會商の決裂は單に兩國の紡績業のみならず日英の通商關係團体延いては對國際關係にも重大なる影響を齎らすもので我當業者としては對英代表の引揚げ時期、並にこれが善後處置に深甚の注意を拂つてゐる、即ち現在紡績聯合會首腦部の抱いて居る局面打開策としては

一、民間會商は第四次會議を以て打切り日英兩國政府の外交折衝により局面展開を圖る事

一、一應駐英代表部を引揚げしめ時間的經過を俟つて妥協折衝の方法を講ずる事

等であるが何れにせよ現在情勢を以てしては會商決裂、代表引揚げは不可避とみるのが業界の支配的意見である

妥協の餘地なく決裂は必然と

代表部對策の重大請訓を仰ぐ

〔大阪二日發國通〕紡績聯合會では一日駐英岡田首席代表より

ランカシア綿業團の主張は殆ど信念化し今後一週間位の私的折衝では妥協の餘地なく決裂の他なし、最後方針を明示されたし

と重大請訓を仰いで來たので輸出業者側と協議した結果、愈よ最後的重大決意を表明することとなり三日正午聯合委員會並に輸出綿糸布同業會委員を夫々開催し、午後二時更に合同協議會を開き、我當業者の最後的態度を正式に決定しこれを中外に宣明することとなつた

國際通貨會議に

松山、白井兩氏出席と決定

〔東京國通〕經濟聯盟は七日よりパリで開催の國際商業會議所通貨會議には松山商務參事官及びパリ正金銀行支店長白井氏を出席せしめる事に決定した

ソ聯の我飛行機射擊に外務當局から抗議

廣田外相、太田大使に訓電

〔東京國通〕我軍用飛行機がソ滿國境方面で匪賊討伐中ソヴィエート側から再三不法射擊されたので、廣田外相は駐露太田大使に對しソヴィエートに嚴重抗議する要請訓電を發した

一、二月二十三日我軍用機が黑龍江と松花江の合流地點の上空を西から東に向つて飛行中突如ソ聯側の領土內から射擊を受け操縦士の左背部に擦過銃創を負つた

一、またこれより先二月十二日同地方面の土匪討伐に從事中の我偵察機も同樣ソ側より射擊を受けた事實がある

一、帝國陸軍は掃匪事業を殆ど完了し殘る所松花江下流ソ滿國境附近のみでこの土匪討伐の地上部隊と協力するため飛翔してゐるものである、從つて滿洲國領內の飛行であることは明白でソ聯を侵した事實は更にない然るに我軍用機が右目的を以て正々堂々飛行中はからずもソ聯側より射擊を受け搭乘者も負傷するに至つた

一、斯る事實は許し難い不法行爲である依て貴國政府は速に當該責任者を處罰し將來斯る不祥事の再發せざる樣適切なる措置を講ずべし

不法の極みだ

陸軍當局憤然として語る

〔東京滿通〕滿ソ國境にて皇軍飛行機が射擊せられたりとの說に對し陸軍當局は次の如く語つた

現時滿洲國の治安は漸次回復し從來各地に橫行してゐた匪賊は目下國境近くに蠢動するに過ぎざる狀況に立至つたので在滿皇軍の討伐行動は自然に國境近くに行はれるに至り、これと連絡すべき飛行機の行動もまた國境に近き上空に及ぶべきも止むを得ない、よつて皇軍としては日ソ間不快なる事態の惹起せざるやう常に注意を拂ひつつあり、國境飛行の如きは絶對にないことと信じてゐる

然るに二月廿三日午前十一時頃黑龍江及松花江の合流點附近に行動中の皇軍と連絡のため黑龍江右岸滿洲國領土上空を飛行中の皇軍機に對しまた二月二十二日同江上空飛行中の皇軍飛行機に對し不法にもソ軍が多數の機關銃をもつて射擊した事實は諸種道によりて確認せられた、斯くの如きは常時ソ國が平和愛好を高唱しつゝあるにも拘らず全くこれを裏切りたる不信不法の行動であると認めざるを得ず

ソ聯極東軍司令官更迭

〔チチハル國通〕一日當地に達した情報に依れば最近ソ聯極東軍司令官が更迭されたとの事で、前司令官ブリュツヘル將軍は駐米大使に任命されたと

英國は速かに滿洲國を承認すべきだ

モーニングポスト紙の社說

〔ロンドン一日發國通〕今朝のモーニングポスト紙は社說で新國家として政治經濟共に健全な發達を爲しつつある滿洲國を速に英國は承認すべきであると論じてゐる

石油問題其他で質疑相繼ぐ

貴族院豫算總會

〔東京國通〕貴院豫算總會は午前十時廿七分開會、淺田良逸男登壇

淺田男　滿洲の國防は遺憾ないと首相は云つたが滿洲の要地も我帝都も敵機襲擊の虞れありと考ふべきだ、我國の滿洲に於ける空中國防は貧弱だが空中國策確立のため機關を設置するや

首相　空中國防は研究してゐる、委員會設置は今の所考へてゐない

淺田男　國防は軍部の仕事でなく國民の仕事だ、陸海軍の空軍整備、且つ民間の發達を期せ

次で大藏男鐵道敷設に就き質問三土鐵相之に對し考慮中を答へ、次で小林嘉平治君市町村選擧區に就き山本內相と一問一答、零時六分休憩に入る午後一時四十九分再開、小林嘉平治、坂本俊篤兩君より米穀統制に關する質問あり、後藤、永井兩相よりそれぞれ答辯あり、次で內藤久寬君より石油問題に關し質問

內藤君　我國は多數の油田を有しながら何故開發せぬか

高橋藏相　從來內地の石油業奬勵のため巨額の保護をしたが一部の事業家を儲けさせただけで三十年後の需要の一割しか産油せぬ結果の判らぬ試掘に一千萬圓も出すより當分外國油を買貯めた方がよい

松本商相　石油の爲一千萬圓追加豫算を出す考へはない

林陸相　石油問題は商工、大藏、海軍各省と資源局とで相談してやつてゐる

松本義平君と後藤、永井兩相間に米穀問題につき一問一答あり

大澤德太郎君　關稅改正の意向ありや

高橋藏相　大體贊成であるが直ちに改正する考へはない

山隈君　我教育界は近時不祥事多く當局の處置は手ぬるい、鳩山文相は一身上のことで衆議院で問題になり居るは遺憾である、不評一掃辭めるのが本當と思ふが後から後から不評が出て來る樣では教育上よくない

鳩山文相　その意味で明鏡止水の心境で善處すると昨日答へたのだ

次いで委員長より、總會はこれで終り二日より分科會に入ることを諮り、異議なく決定午後五時五十三分散會した

永野大將親任式

〔東京國通〕永野修身中將の大將親任式は一日午前十時宮中鳳凰の間で施行、末次、中村兩中將は職務不在で官記のみを傳達す、軍令部出仕北岡少將は吳防備司令に、吳防備司令太田垣少將は橫須賀鎮守府附航海學校長に內定

林總裁歸連

林滿鐵總裁は御大典參列のため二十八日來京したが式典も滯りなく終つたので二日午後

駒井前參議感激して語る

〔東京國通〕一日朝滿洲國公使館で遙拜式後駒井前參議語る

私は今日あるを初めから豫想してゐたが思つたより順調に速やかに今日が來たことは滿足であり感慨無量だ、昨夜胡秘書長を通じてお祝を奏上したがこの機會に日滿の眞の提携を祈つて已まない、この際特に日系官吏の徹底的自重を望む、永久に今日の日本國民の心からの敬意を失はないやう自分も努力する、努力人もすることを望む

人事往來

▲久下沼英氏（關東廳刑事課長）一日午後四時三十分發大連へ

▲林總裁（滿鐵）二日午後四時三十分發大連へ

歡びの一夜明けて 榮光に輝く宮廷府

けふ內外の使臣をお召し 畏くも宴を賜ふ

大滿洲帝國建國史の第一ページを飾る登極の御儀も滯りなく終らせられ、新皇帝陛下の御滿足もさこそと肯かれるが、御大典第二日の宮廷府はさすがに瑞氣溢れ壯嚴のうちにも歡喜に滿ち〳〵て鄭國務總理大臣以下近臣、文武高官の面には何れも重任を無事に果した晴れやかな色が浮んでゐる、當日正午より畏くも皇帝陛下には內外の使臣を宮廷府に召され、第一饗宴を賜つたがこの日お召しの光榮に浴した文武百官、一般地方民ら百余名は何れも晴れやかに參入、畏き御沙汰に感激して退下し、なほ三日の第二饗宴には鄭總理以下百四十名がお召しの光榮に浴する筈である

御大典第二日

重荷を下ろした首都新京 けふも終日大賑ひ

歡喜と興奮に明けた御大典第二日の首都新京は昨日までの緊張も解けて流石に重荷を下ろした形ではあるが、市民の興奮はなほ醒めず、晴れの裝ひ成る街々には五色旗もへんぽんと飜り、到るところ馬車の來往も繁き裡に飛行機は舞ひ煙火は打揚げられ高脚踊その他の滿人側の餘興が繰出されるとともに、日人側の新京料理組合、三業組合、各カフエーなどの屋台もお午頃から段々と市內を練歩き前日にも劣らぬ奉祝氣分が溢れた、夜間はまた城內から附屬地へ附屬地から城內へと一層の人出を見るであらう

饗宴第一日

滿洲國皇帝陛下は二日勤民樓に菱刈大使および隨員並に地方代表として外交部北滿特派員セミホン氏以下陪賓として鄭總理大臣以下各特任官百二十餘名を召され饗宴を賜つたが　陛下には正午參列員の最敬禮裡に御臨場宴席正面玉座に着かせられて勅語を賜ひ菱刈大使から祝詞を奉り奏樂裡に開宴した

けふ外賓賜宴に 賜はりし勅語

朕　躬ヲ以テ祗ンテ天命ヲ承ケ寅テ鴻基ヲ肇ム、實ニ兩年以來貴國ノ熱誠ナル援助ノ致ス所ニ由レリ、今登極禮成ルヲ以テ特ニ饗宴ヲ設ケ貴大使及在座ノ諸君ト一堂ニ歡叙シ朕カ心深ク欣悅ヲ感ス、近時一般ノ議論咸ナ謂フ貴我兩國共同利害ノ關係ヲ以テ結合スト、此レ實ニ一種ノ淺見タリ、朕思フニ我カ東洋傳統ノ精神ハ惟レ道義ヲ誠ヲ以テ主トナス、因ヨリ僅ニ止タ利害關係ノミナラス、此後宮ニ貴國上下ト至誠ヲ以テ相貫注シ以テ共存共榮ノ實現ヲ期シ、東亞永久ノ平和ヲ維持シ以テ兩國群衆ノ仰望ヲ慰メンコトヲ庶幾フ、此ニ一觴ヲ舉ケテ貴國　大皇帝陛下ノ福祚昌盛ナランコト並貴大使及諸君ノ所業日ニ隆ナルヲ敬祝ス

菱刈大使祝詞

皇帝陛下登極ノ禮成レルニ當リ特ニ饗宴ヲ設ケ本使以下ヲ……

大滿洲帝國第一世皇帝陛下御即位の古の御盛典を永久に……

地方賜餐第一日

けふ各會場とも晴れやかに 何れも光榮に感激

新京における地方賜餐は今明二日間に亙つて日本人側は西廣場小學校、新京高等女學校でまた滿人側は饗宴樓金興樓……

……滿文武官僚及我居留民代表ヲ列セシメラレ且優渥ナル勅語ヲ賜フ本使等ノ光榮之ニ過キス、兩年以來貴國ヲ極力援助シ來レル我帝國上下ハ今ヤ　皇帝陛下ノ御仁德ノ下ニ貴國ノ礎確立スルヲ見テ歡喜措ク能ハス希クハ貴我兩國特殊緊密ノ關係カ今後益々堅固ヲ加ヘ互ニ協心勠力ノ誠ヲ致シ東洋平和ノ保障為共同ノ責任ヲ完ウセンコトヲ、茲ニ杯ヲ舉ケ謹テ聖壽ノ無疆ト貴國運ノ隆昌トヲ祈リ奉ル

大陸春および金記飯店の各支那料理店で開かれることゝなり、その第一日(二日)定刻正午から各會場で開かれたが、この日光榮に浴した日滿文武官、各種機關代表名譽職その他一般地方有力者ら禮裝に襟を正していづれも晴やかな色を浮べて入場しやがて定刻金特別市長或は代理の挨拶があり、直ちに賜餐の光榮に浴して萬歲を三唱、感激の裡に無事散會した、なほ地方賜餐に召された人々は日滿人合して約四千名で當日その約半數を終り殘余は三日に行はれるはずである

天皇陛下 御即位御祝電を發せらる

（東京國通）天皇陛下には滿洲國の即位御大典に際し新皇帝に對し御懇篤なる御祝電を御發送遊ばされたが首相始め陸相　その他閣僚は鄭國務總理大臣に對し夫々祝電を發した

繪葉書と記念切手 昨日中に全部賣切れ

羽が生えて飛ぶやうな有樣

記念すべく記念繪葉書や記念切手、記念スタンプをもつて內地の親戚、知友に通知しやうとする者、記念品やスクラップブツクに記念切手とスタンプを押捺して保存しておこうとする物好き連中はこれ等滿洲國郵局、日本郵便局に怒濤の如くに押し寄せたその日の頭道溝郵局、及び日本郵便局の賣れ高を調べると

頭道溝郵局

記念繪葉書六千組（一萬二千枚）一錢ケ厘記念切手一萬五千枚、三錢記念切手一萬五千枚、六錢記念切手八千二百枚、十錢記念切手八千二百枚、金額にして繪葉書八百二十五圓、一錢五厘切手二百二十五圓、三錢切手四百五十圓、六錢切手四百九十二圓、十錢切手八百二十圓合計二千八百十二圓なほ同日は切手は三錢切手を殘して後は繪葉書も全部賣り切れて午後は一名一枚限りに制限して賣り續けた、今度の繪葉書は全滿で九萬組印刷して奉天管理局と哈爾賓管理局とで二萬五千組づゝを分けて發賣し、そのうち六千組は新京郵局で發賣した、新京には鉄に內地、朝鮮方面からの註文があつて、この分でも各種の切手を通じて約五千枚の注文があり、アメリカから二枚の注文があつた、當日は、局側では窓口だけでなく別に大同廣場でも臨時出張所を設けて三名の局員が切手賣りをやつた程である

滿洲國皇帝も 御返電

滿洲國皇帝の御即位にあたり日本國皇帝陛下から別項の如き御祝電があつたので　滿洲國陛下からも當日直ちに御禮御返電があつた

日本新京郵便局

引受消印封書百二十九通、繪ハガキ八百七十七枚、計一千六通、記念消印繪葉書四千五百八十八枚、物件百七十七件計四千七百六十五通、總計五千七百七十一通

鄭總理大臣 賀表奉呈

新帝御即位の嘉き日を壽ぎ、一日鄭國務總理大臣は文武百官を代表して左の如き賀表を奉呈した

賀詞

國務總理大臣孝胥文武百官地方代表等ヲ率ヰ跪テ奏ス伏シテ以ミレハ萬方后ヲ望ミ常ニ景運ノ維レ新ナル四海昭穌シ聖明ノ御備ヲ企ム臨御スル者畢ク歡呼ニ歸シ亨育スル者群ロ御発ヲ仰ク乾軸ヲ旋ラシテ坤維ヲ正シ龍興ヲ逆ヘテ日馭リ廻ヘス欽テ惟ルニ　皇帝陛下神聞ノ叡智天稟ノ英明ナ敬ノ韻潛上天ノ大任ニ契シ一朝雲蒸シテ　代ノ運ヲ興シ天心人民ニ協應シ櫛　宏ニ垂統テ師キ允ニ明命ヲ承ケテ載テ乾符ヲ握リ雨露賓臨ニ澤及シ日月宸極ニ昭臨ス臣忝ナク台柄ヲ司リ幸ニ龍飛ヲ觀ル適マ亨嘉ニ際リ能ク讚スルナカランヤ百官ヲ率キテ賀ヲ什ヒ海宇ノ匪懈ヲ喜ビ萬姓ヲ引キ以テ滿ク呼ビ生民ノ徳ヲ讃ルアルヲ證ス臣等誠歡誠喜表ヲ奉リ以テ聞ス

康德元年三月一日

國務總理大臣鄭孝胥

軍人並に 建國殉難者へ 勅諭

式典並に饗宴地方賜餐終了後五日午前十時　皇帝陛下は軍政部大臣をお召しになり軍人並に建國殉難者への勅諭並に詔を賜る筈である

假裝の入賞決

一兩日遲れる

御大典當日の慶祝餘興で市民の呼びものであつた假裝行列は以外の優秀なものが繰り出して審査は一日午後三時から六時まで地方事務所で嚴格に行はれその結果入賞者の最後決定を見るに至らず、それに野村審查員病床についたため一兩日遲れて入賞者の決定を見る、なほ賞金の具合も豫算のゆとす範圍において少し考慮されるさ

君主制樹立に

日滿間に公文交換

昨日菱刈大使、鄭總理の名で

鄭國務總理大臣は一日附を以て君主制樹立に關し要旨左の如き照會を菱刈大使に送達した

拜啓滿洲國は康德元年三月一日執政登極し滿洲帝國皇帝となり君主制を立て候、本總理大臣は特に此事を貴大使に向つて知照すると共に此機會大使より貴國政府に轉達方相煩し度く候、本總理大臣は此の機會に於て兩國間に存する特別且つ緊密なる關係の益々深厚を加へんことを希望致候、右照會致候　敬具

康德元年三月一日

鄭孝胥

日本帝國特派全權大使

菱刈隆閣下

右に對し菱刈大使は折り返し全文左の如き公文を以て答へた

以書翰啓上致候陳者本年三月一日附書翰を以て滿洲國に於ては康德元年三月一日執政滿洲國皇帝の位に即かれ茲に君主制樹立せらるる に至りたる趣御通報の上之を帝國政府に傳達ありたき旨御申越相成敬承致候

本使は帝國政府の訓令に基き帝國政府に於ては右御通報の趣を了承するを欣快とする旨閣下に回答するの光榮を有し候

本使は此の機會に於て兩國間に存する特別且緊密なる關係が益々深厚ならんことを希望致候右申添旁本使は茲に重て閣下に向て敬意を表し候　敬具

昭和九年三月一日

日本特命全權大使

菱刈隆

齋藤首相談

（東京國通）齋藤首相は一日の隣滿洲國の皇帝即位の大典に際し謹みて語る

御即位の大典に祝意を表すこれを機會に滿洲國は國礎固まり獨り滿洲國のみならず東洋平和のため祝賀に堪えず

林陸相談

滿洲國は建國の佳辰をトし、天意に從ひ庶民歡呼の裡に帝制を實施せらるゝことゝなつた、その前途は誠に洋々たりと云ふべく實に慶賀に堪へない、この滿洲帝國の誕生なる所在その發達の事實とは世界の平和を念とする世界列強をして滿洲國に對し取り來りたる過去の態度につき再檢討をなすの必要を感ぜしむるであらう、吾人は滿洲帝國が所謂百里の行路は九十里を以て半ばとすの言に從ひ建國の理想實現に向つて精進せんことを望んで已まざるものである

滿鐵重役の 捧呈せる 大典祝電

（大連國通）滿鐵では滿洲國帝制實施の盛典に對し林總裁以下全理事の連署を以て外交部大臣宛左の祝辭を呈することゝなつた

本日貴國　皇帝陛下の御登極大典を祝し併せて聖壽の無窮と國運の隆昌を祈り奉る右執奏方乞ふ

南滿洲鐵道株式會社

總裁　伯爵　林博太郎

副總裁　八田嘉明

他理事一同

滿洲國外交部大臣

謝介石閣下

危禍の堀大佐

少將に任ぜらる 廿七日遂に逝去

去る廿六日大典前の新京警備狀況視察中自動車衝突の危禍に會ひ、重傷を負つた關東軍司令部附堀大佐は二十七日新京衛戍病院にて遂に逝去した危篤の報天聽に達するや滿洲事變の功を思召され正五位に敍し陸軍少將に任ぜられた故堀少將は石川縣の人で明治四十一年步兵少尉任官以來參謀本部員、陸軍大學校教官等に歷任し、シベリア、上海、滿洲各事變に出動して輝しい功績をあげ、殊に熱河作戰には兵站監部錦州出張所長として困難な後方勤務に精根を傾注して軍輸送上に新機軸を殘した、軍後方勤務殊に船舶輸送の權威として重きをなしてゐた堀少將を喪つたことは、陸軍の一大損失として各方面から非常に惜まれてゐる

告別式は 四日高女で

なほ遺骸は二日午後三時から錦町四丁目關東軍第五號官舍で讀經のうへ同三時官舍出棺新京火葬場において茶毗に附されたが告別式は四日午後一時から同官舍で讀經の上同一時半遺骨出發、同二時より新京高等女學校講堂において執行されるはずである

日本体協理事會

滿洲國の要望全部を一蹴 鄉名譽主事辭職せん

（東京國通）極東オリムピツク大會參加問題を決する日本体育協會理事會は廿八日午後五時半丸の內中央亭に開かれたが、之より先滿洲國体育協會久保田代表より

「文書」

を以て滿洲國の決意を表明し滿洲國は飽く迄第十回大會參加を要望し、日本体協の支持に依つて支那を反省せしめ滿洲國參加を實現するか然らずんば支那を脫退せしめて大會を開催せしむるか、若しそれも不可能ならば大會前にこれを解消せしめることを希望し、要するに滿洲國の參加なくして日本が大會に參加することは滿洲國として絕對に欲せざる旨を明かにするところがあつた、然るに日本体協理事會は五時間に亙る協議の結果滿洲國のこの要望を全部一蹴し、日本体協は來る大會に飽くまで參加したる上滿洲國參加問題又は極東大會解消問題を決せんとの決議を採擇し鄉体協名譽主事より右決議は明三日中に滿洲國代表に文書を以て發せられる旨發表したのみである、鄉主事は最初より滿洲國の主張に同情ある態度を以て臨み若し滿洲國側に對し不利益なる決議を理事會がなす場合、更に理事會の決議を延期せしめるを約し然らざれば辭職すべき旨言明してゐたので、理事會が右決議をなした爲め文書に依る回答の滿洲國代表に發せられると同時に

「辭職」

することゝなつた、從つて滿洲國體協と日本體協の關係は兩三日中に正式に決することゝなつた

關東軍司令部附陸軍少將堀文幸儀一月二十六日公務の爲め自動車に塔乘中受傷し新京陸軍衛戍病院に入院、加療せるも藥石效なく一月二十七日午後一時卒去仕候間此段紙上を以て御通知申上候

追而三月四日午後二時より新京高等女學校に於て佛式に依り告別式を擧行し、遺骨は五日午前九時新京驛發朝鮮經由內地に還送の豫定に付申添候

昭和九年三月二日

關東軍司令部

葬儀委員長　岡村寧次

大典寫眞 上から大同廣場における奉祝大會場の群集、金特別市長の挨拶（圖內）萬歲三唱、日滿合同旗行列、高蹺御踊り

慶安異聞 艶魔地獄

（百八十八）

玉水三郎

（繪）長谷川小信

濱の夕なぎ（十一）

「御用だッ」
「神妙にお繩を受けよ」
御用の一聲に、普通の格鬪でない事が判つた。別木莊左衛門と一人の武士は、事面倒と悟つてか、苫船の中へ入つて了ツた。
「何を吐かしやアがるんだ。乃公ナ御用なんて言はれる譯はねえんだ」
此一語から考へると、彼は無職渡世若しくは博徒らしい。
「エ、ッ、申立つる事あらば、町奉行所で申立てろ」
「ソレッ、縛め捕れッ」
捕方は七八人であるらしい。曲者は巧に十手の下を潜つて、逃れんとするを、右より左より打込む十手。
「何を洒落臭せえ。田舎の木ッ葉手先に捕まつて耐まるもんか」
曲者は遂に匕首を拔き放つた。闇の中にもキラリと光つた。
「ソレッ、刃物を持つたぞ」
「油斷するな、打て〳〵」
十手を以て、烈しく打覆つた。
「アッ」と一人の捕方は、何處を刺されたか大地にドウと倒れた。
「さア來い。近寄つたら叩つ斬るぞ」
捕方も用心してか、さつと道を開いた。折しも風も凪ぎ雨も小降りとなつた。曲者は濱傳ひに走り出した。
「ソレッ、逃げるぞ」
「先廻りして道を塞げ、新濱へ廻れッ」
先廻りした一人は、決死の覺悟で曲者の前に突立つた。
「野郎、叩ッ斬るぞ」
「オ、斬つて見ろ」
突如曲者の手許へ操込んで、匕首持つ手を打たんとした。
「苦勞を燒へッ」
横殴りに匕首を揮つたが、捕方はひらりッ外して、左の手首を取りつゝ、十手を打込む其素早さ。
「何をしやアがる」
再び逆手に取つた匕首で、突かんとした時、捕方は其手を放してタ、タ、タと後ずさりした。
追はれるまゝに、唯一心に逃れやうと曲者は走らうとした。もう其時には曲者の手には繩の輪が掛けられてあつた。
「野郎、かけやがつたな」
匕首を以て捕繩を切らうとした。捕方は切らせまいと、グイと力任せに繩尻を引いた。
曲者は力餘つてドターリ、横様に轉げ倒れた。
「ソレッ、逃すな」
追い迫つた五六人が、十手を以て無茶打に打ち續けた。
左手には繩が纏り、右手なる匕首はもう打落されてゐる。
しかも滅多打に十手の雨霰で、へト〳〵になつて起上る勇氣すらなかつた。
遂に曲者は十重二十重の圍に陷つて了つた。
「怪我は一人だけか」
「大骨折らせ居つた」
「オ、大した事もないやうだが、右の腕を太たかやられたらしい」
「先づ大難が小難で濟んだといふものだ」
捕方等は負傷者の手當をして、引上げるらしい。
曲者は切齒をして、地團太踏んで殘念がつた。
「江戸表に於て、放火燒き殺しの大罪犯したる、安藝坂の三五郎も、遂に天の網に罹つたといふもの。此上は神妙にして參れ」
叱るやうに捕手頭は言つた。曲者は舌打して、
「もうそれと知られちや百年目だ、さア何處へでも引いて行け」
觀念の目を閉おて、大膽に歩き始めた。此時夜は白々と明け離れた。

三月三日 土曜 癸酉 赤口 危 柳宿　舊正月十八日

●一白の人　氣運吉なれども不相應の願ひは起さぬこと　庚と戌と壬が吉
●二黑の人　誠心に神宿る譬絶して大功を奏するに至る　丙と丁と庚が吉
●三碧の人　二段構えの方針にて物事を企つるがよろし　辛と亥と壬が吉
●四緑の人　失策を生ずれば是がため永く苦しむ事あり　申と辛と壬が吉
●五黄の人　目的地には達するも餘分の廻り路をする日　庚と辛と戌が吉
●六白の人　一心の締る所何事をも貫徹すべき幸運の日　乙と丙と寅が吉
●七赤の人　富めりとて驕らず分に安ずるが基礎を固む　丙、丁と寅が吉
●八白の人　活氣次第に加はりて一家一門益々繁榮の日　丁と辛と戌が吉
●九紫の人　意氣消沈して目的の成功を期し難き衰運日　甲と丁と申が吉

新京日日新聞

帝政の創建を機に
對內對外政策一新されん
發揚される滿洲帝國の威容
その全貌をみる

滿洲國政府は君主政體の創建を契機として、對外對內政策を更始一新し、新興帝國の威容を內外に發揚すべく明してゐる

對外政策

第一 國際信義を重んじ國際間の親善關係を計ることを基調とし、諸列國の滿洲國に對する過去の認識不足を一掃し、漸次世界をして滿洲國承認の機運に馴致しゆくこと

第二 門戶開放、機會均等の二大原則を尊重し、世界經濟主義に立脚し極東平和の確保さるゝ範圍內において經濟開發に關する各國の參加を歡迎し、先づ經濟的關係から列國をして滿洲國の事實的承認へ導くこと

第三 極東平和の樹立を外交策の第一義とし接壤國たる日ソ支の極東三主要國との親善關係を確立するに努力する、就中世界唯一の承認國にして、建國以來唇齒輔車の間柄にある日本に對しては、日滿議定書の大旨に基き兩國の親善關係を愈よ鞏固にし、共存共榮の實を擧げ、以て極東平和の礎石を固むること、又中華民國に對しては、東洋平和の大局に立ち、誤れる國民政府の對滿觀念の是正に努力し進んで滿支のこだはりなき親善提携を期し、更に日滿支三國經濟ブロックの促進に努め、以て同文同種國たる東亞三大國の經濟的團結並に三國々民の經濟的發展を期する、更に隣邦ソ聯に對しては、相互にその主權を尊重し、滿ソ兩國間に橫はる諸懸案を解決し、進んで不侵略の原則に基く親善關係を確立し、北滿における世界の疑念を一掃するに努む

第四 對歐米外交政策は滿洲帝國の嚴然たる存在を確認せしめること、並に通商關係の圓滿なる發達を主眼とし、承認問題の如き形式問題は、第二義的のものとなし、滿洲國獨自の外交政策の遂行に邁進する

□

順天安民の國是に立脚する君主政體の萬世に亘る不易の基礎を鞏固にし、新皇帝中心主義の王道政治を顯現して、君民一如の理想政治を實踐することを以て根本方針とし、之がため先づ中央地方行政制度に重大な改革を行ひ以て中央集權制を確立し、更に產業開發第一主義に則りて國民生活を豐富にし、且つ全滿に於ける諸般交通網の擴大を圖つて國內交易を便にし、又敎育制度の革新並に新文化運動を促進して、民智の啓蒙に力を注ぎ民度に於ける後進國民としての躍進を期する、更に治外法權撤廢を目標に司法制度の改善を圖り法治國の面目を發揮すべく、諸法規、法典の制定を急ぎ、國家組織の完成に全力を擧げて邁進する、軍事においては、陸海十數萬の國軍は改めて皇帝を大總帥と仰ぎ、軍心を一新し、確乎不動の統帥權の下に、眞に頼母しい皇軍として更生すべく、四日には畏くも新帝より勅諭を賜ひ、國軍の精神と指針をいよいよ明かにさるべく、これにより滿洲國の國防と治安の維持は友邦日本の協力と相俟つて益々完全を期する、また財政經濟政策においては、日滿經濟ブロックの强化、對外貿易の振興を二大經濟根本方策とし、曩に宣言せる經濟建設綱領の四大原則に基いて國內產業の開發を圖り、以て產業革命に附隨して起る資本主義の弊害を除去し、搾取なき國民生活の向上を圖ると共に國家財政の確立を期し、國稅地方稅の整理斷行、國民の負擔輕減、並に之が合理化を圖り、また建國以來努力し來れる幣制統一を完成、全滿金融機關を整備して中央、地方經濟建設の遂行に躍進する

慶すべきは
東洋的な政治形態

一九二九年から打續く世界的不況は、一九三四年に入つて愈よ庶民階級の『窮乏』を深刻化し遂にフランスに於ては左右兩翼派の現政權に對する不信任が嵩じてパリに於ける慘澹たる暴動と化し、次いでオーストリアに於けるウイン騷擾を惹起したが之等は孰れも單なる政權の爭奪を目的とする政爭の暴動化ではなく、實にその根底に流るゝ實體は、窮迫せる庶民階級が、動ともすれば、資本階級の味方を以て終始せんとする嫌である、その國の現政權に對する挑戰であつて現在世界の諸國が如何に深刻なる經濟的不安に喘いでゐるかを物語るものであり斯うした現象を通じて最も强く觀取される政治現象は、デモクラシー經濟の行詰りであつて、今や世界の政治思潮は獨裁主義、若くは一國一黨主義の『方向』に向つて奔流しつゝある

即ち萬世一系の皇室を奉戴する日本帝國を別とし、比較的安定な狀態にある國々即ち獨乙はナチス政權の獨裁下に、伊太利も亦ムッソリーニの獨裁下に、ソ聯は、スターリンの鐵腕政權下に、而してルーズヴエルト大統領主宰下のアメリカは、共和制度とは謂へ獨裁政治に近い幾多の至大なる權限を附與し、その權力下に不景氣打開の血みどろの奮鬪が續行されてゐるのである

斯く十八世紀の末葉以來西歐に擡頭したデモクラシー政治は高度資本主義の最高潮期たる今日に於て全く行詰りの姿を呈し、獨裁政治が新しき政治形態として謳歌せらるゝに至つたのであるが、この政治思潮の混亂期に於て、滿洲國が嶄然として東洋政治思想の『主潮』として理想國家建設の深淵なる哲理をもつ王道政治形態を採用し、萬邦協和、順天安民の大理想を實現し、以て東西文化の融合と產業革命の弊害を整調せんとするの國家建設に邁進し、茲に天意に則る君主政治の實現を見たことは東西に於ける刻下の政治情勢を顧る時、一層意義深いものがあると同時に、滿洲國の一見古典的なるが如き東洋的政治形態の實現はナチス獨裁政權やファシズム專制政權と共に、その前途は頗る注目すべきものがある

政体定まれば 國家定まる
鄭總理大臣謹話

曠古の御大典郊祭登極の大禮芽出度く終つて一日午後零時四十分、鄭國務總理は官邸に於ていとも感激深く左の如く語つた

國家の總てのことは定まるといふ事にある政体定まれば國家定まる、滿洲國は建國以來二年、茲に帝政實施され陛下即位さる、此の間友邦日本の絕大なる援助により國家安定し本日此の大典を擧行さる、斯くて滿洲帝國成立し日本と合作提携すれば亞細亞は安定する、亞細亞安定すれば世界安定する道理である、本日陛下は即位され大禮は滯りなく行はれた、此の慶びは啻に我滿洲帝國一國の喜びのみならず世界各國の喜びでなければならぬ、之を以て大典芽出度く終つた喜びの言葉と致します

菱刈大使
登極式典參列後に於ける謹話

菱刈大使は本日登極式參列後記者に對して左の如く語つた

日滿兩國々民が國を擧げて鶴首仰望して居りました滿洲國皇帝陛下御即位の盛儀も本日滯無く終了致しまして誠に慶賀に堪へませぬ郊祭及登極共に簡素を旨とせられたのでありますが、極めて崇嚴でありまして、我々は等しく其の神々しさに打たれたのであります、殊に皇帝陛下御登極の刹那は參列者一同無限の歡喜が一時に胸に迫るを覺へまして萬歲の聲も天に響くかとばかり思はれました乾德高き新皇帝陛下の御登極は滿洲國の國礎を確立致しましたものでありまして王道樂土の實現も期して俟つべきであります、滿洲帝國が我帝國と提携して今後益々發展し啻に極東のみならず、世界文明に大なる貢獻を致し得可きは本使の信じて疑はぬ所であります

日英會商の前途に 政府期待を棄てず
局面打開はいくらもある

〔東京國通〕政府は別項の如く三日大阪で開かれる日英會商對案協議會には參加せぬ事になつたが、政府としては同會商に關し左の如き見解を持してゐる

日英會商は未だ序幕であつて決裂の危機に立到つてない、第三國市場問題に就ても民間相互の談合に依つて未だ打開の道はいくらでもあるから、この際政府が乘出す必要もなく又その時機にも際會してゐないだ

政府成行を靜觀に決定す

〔東京國通〕三日大阪に於て開催される日英會商對策委員會に關して吉野商工次官は外務省來栖通商局長と協議の結果、政府としては英國側の意向が明確でないので松平駐英大使の請訓を待つて方針を決定することとし政府側の出席を要請された三日の對策委員會は外務、商工兩省よりの代表は出席を見合せ暫く靜觀することに決定した

オランダ政府
日蘭綿業當業者會議を切望
駐蘭武富公使公電

〔東京國通〕オランダ駐在武富公使よりの公電に依れば、オランダ政府はバタビヤでの日蘭當業者會議を出來るだけ早く開催したいと希望しをり右會議にて日本側より藍印綿布輸入割當の申出あれば協定の用意あり非常時織物輸入制限令によるサロン割當は二月十四日より實施され居り、晒割當は三月一日より實施すると通告し來つた

二日午前の
衆議院豫算總會

〔東京國通〕農村對策の農林省追加豫算を審議する衆議院豫算總會は二日午前十時四十五分開會、政友會の河野一郎君籾貯藏の目的並に籾貯藏數量及經費に就き質問したる後

河野君 米穀統制法と籾貯藏との關係を如何に觀るか

農相 統制法が主で貯藏が從である

河野君 非常な供給過剩でなければ貯藏の必要はないではないか

農相 助成金を出して迄貯藏する要はない、しかし種々の社會的經濟施設を考用して貯藏設備は常に必要であると思ふ

河野君 籾貯藏は統制法補强策として農民の負擔を重加するに過ぎぬ一愚策だと昂奮すれば

農相 左樣に考へて居ない

河野君 外米對策については閣僚間に完全に意見一致してゐるか

農相 根本方針では一致してゐるが具體的方法について關係省間で協議中であると答へ、次で政友會の砂田重政君より一二參考資料の提出あつて正午休憩に入る

聯盟の滿洲國不承認諮委會
五月十四日に開催
郵便物通過料請求問題も審議

〔ジュネーヴ一日發國通〕滿洲國不承認諮問委員會は、來る五月十四日第七十九回理事會と同時に開催されるが、同委員會は其際滿洲國の獨立宣布以後に於て滿洲國を通過せる郵便物に對する滿洲國よりの通過料請求問題を審議する事となる筈である、但し聯盟側では滿洲國承認を暗示するが如き事を冀は欲しないため此問題は極めて微妙なる關係に置かれてゐる

張燕卿氏
協和會を代表
皇帝に賀表捧呈

協和會理事長張燕卿氏は一日滿洲國皇帝に對し奉り協和會卅萬會員を代表して左の如き賀表を捧呈した

賀表

登極盛典に恭逢し謹みて表を奉り天喜を叩賀す、伏して以るに天生聖智開創の奇功を宏め享賀に運際し休明の盛治を仰ぐ、是の故に皇穹佑を垂れ珍符を誕錫す、哲后挺生、大統を丕承し龍旂を揭げ以て帝に饗し鳳を御し天を承く、慶九重に溢れ歡四表に臨る、欽惟するに皇帝陛下功綏撫に成り道彌綸に合ふ、聰明睿智の資を稟け聖神文武の德を備ふ、屬するに天禍亂を降し民水火に罹り軍閥肆虐衆怨沸騰し、梟衛に爾ち豺狼路を塞ぐを以てす、陛下三千萬子遺の子民を以て之を滿鑑に委し大滿洲の疆土其陸沈を聽くに忍びず、爰に友邦將伯の助を以て王者撻伐の師を興し、一たび旅を振つて而して九族仁に歸す崇朝ならずして四邊底定す、是に於て群材序進、百職交修の宿氣盤澁昌運を廓開す、大寶增輝、乾軸を撫し而して坤維を正す、洪鑪再造し、干戈は戢戢され風雨時に順ひ、天命の歸する攸實に謳歌に茂膺す、人心の屬する所咸謳歌に鼓舞す、豐露甘を呈し卿雲旗を翔す、天人合應し書軌混同す、斯誠に萬年無疆の休徵、王道大同の權輿也、臣等恭しく鴻慈に沐し召列鴻序雲龍風虎、幸ひに千載の昌明に逢ふ河圖洛書、願くは萬年の景運を啓かん事を、臣等誠歡誠喜に勝らんや、臣滿洲國協和會全國聯合協議會議長張燕卿會員を代表し謹みて表を奉り以て上聞す

軍令に關する件

軍令第一號

第一條 軍の統率に關し勅裁を經たる規定は軍令とす

第二條 軍令にして公示を要するものは上諭を附して之を公布す前項の上諭には親署の後御璽を鈐し軍政部大臣年月日を記入し之に副署す其の國務と關連するものには國務總理大臣と倶に之に副署す

第三條 軍令の公布は政府公報を以てし其の原本は軍政部に於て保管す

第四條 軍令は別段の施行期日の定めある場合を除くの外自に施行す

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

朕侍從武官處令を裁可し茲に之を公布せしむ

御名御璽

康德元年三月一日

國務總理大臣
軍政部大臣

軍令第二號

侍從武官處令

第一條 侍從武官處に侍從武官長及侍從武官を置く

第二條 侍從武官處の定員左の如し

侍從武官長 陸軍上將又は中將

侍從武官 二人 陸軍中將又は少將
三人 陸軍校官又は尉官
一人 海軍校官又は尉官

第三條 侍從武官長及侍從武官は常時奉仕し軍事に關する上奏奉答及命令の傳達に任し觀兵演習行幸其の他祭祀典禮宴會謁見等に陪侍扈從す

第四條 侍從武官長は侍從武官を指揮監督す

第五條 侍從武官長及侍從武官は勅旨を奉し演習其の他軍事を視察す

第六條 侍從武官長及侍從武官は宮廷に在りては宮內府の諸規定に遵ふへし

附則

本令は康德元年三月一日より之を施行す

大典當日の北平
滿洲國旗燦然と飜る

〔北平二日發國通〕康德元年三月一日、此日在北平日本居留民は一齊に折柄の春日和に旗色輝く滿洲國旗を揭揚し、友邦滿洲國の皇紀の無窮を壽ぎ奉つた、春日和の下に翩翻と飜る五色旗は各國々旗の此所彼所に揭げられて居る國際都市に在つてサン然とし一際光輝を放つて恰も混濁の民に生氣を與へ、新帝の御威德が北支に漲り及ぶさまを示した

大典當日の上海
一般に無關心

〔上海二日發國通〕滿洲帝國の誕生、新帝の即位に對し當地市政府當局は市民の動搖を慮り一日午前六時より午後六時まで支那街に臨時戒令を布き警戒する等緊張したが、一般は一部に淺薄な諸言が傳へられたのみで極めて平穩、寧ろ生れたものの生長は當然と云ふが如き無關心の態度である言論機關も亦主なるものは殆ど沈默し、僅かに新聞報、華日報、民報が一樣に相變らずの恐日病的荒唐無稽の記事を揭げて居るに過ぎない

大同二年度
豫算更正

滿洲國では帝政實施に伴つて帝室費を增額しそれに恩賞金を新設されるが一方三月一日からは鹽稅の低減および郵便料の引下を實施するのでこれが財源に大同元年度剩餘金の一部を繰入れ本年度一般會計歲入豫算百五十萬七千百四圓および歲出豫算二十八萬一千五百六十二圓を計上、總豫算歲入中百二十一萬九千百四十二圓を更正減額、從つて吉黑榷運署特別會計もこれに伴ふ豫算の更正をなし郵政特別會計でも三月一日から實施される郵料の引下げで本年度內の減收見込が十一萬八千三百三十一圓となつてゐるので、一般增收の見込額を財源として豫算の更正を行つた

帝政祝賀文可決
昨日の貴院本會議

〔東京國通〕貴族院本會議は二日午前十時三十三分開會、劈頭近衛議長より滿洲國帝政實施に對する祝賀文を院議を以て決したいと諮り可決、それより義務敎育費國庫支辨に關する請願外十五件を一括上程して採決に決し僅か四分間で同十時三十七分散會した

英國は卒先
滿洲國を承認すべし
英國保守黨領袖ロイド卿語る

〔ロンドン廿八日發國通〕滿洲國帝制確立に當りイギリス保守黨領袖ロイド卿は二十八日次の如く語つた

イギリス政府は滿洲國を承認すべきであらう、イギリスが滿洲國承認に先鞭をつけるならば、それ日本の爲めのみならずイギリスに多大の便宜を與へやう殊にイギリスが同盟を破棄したのを余は甚だ遺憾としたが過去十ケ年間にイギリスの日本に對する政策が誘致した不幸なる感情を一掃する絕好の機會が今正に目前にあるのだ

滿洲國辭令

任稅捐局事務官 原 信夫

任稅務監督署事務官（薦任八等）派吉林稅務監督署勤務 小林 專一

任稅務監督署事務官（薦任八等）派奉天稅務監督署勤務 小西 三郎

任稅捐局事務官（薦任八等）派錦洲稅捐局勤務

同 小池 孜

任稅捐局事務官（薦任八等）派梨樹稅捐局勤務

任權度局事務官（薦任五等）實業部事務官 山本 韓

實業部技正 陳 徵庸

高橋 文夫

關 錫華

轉任權度局技正（任七等）各通 荻尾長一郎

任哈爾濱警察廳譯官（委任一等）派北滿特別區公署警務處勤務

政友團結派
態度强硬
國策審議會設置に意見一致

〔東京國通〕政友會の大同團結派は一日午後六時より日比谷陶々亭に會合を開いたが、强硬論沸騰し、結局政黨の連繫といふも各政黨の精神的結

通商擁護の
新法案
議會提出を急ぐ

〔東京國通〕政府が今議會に提出を急いでゐる本邦通商擁護に關する法律案については一日の大藏省議で最後的案文を決定したので二日高橋藏相の決裁を經た後同日中に法制局と非公式折衝を行ふと共に、外務、商工、農林、拓務、司法の關係各省に提示打合せを行ひ來週中には議會提出の運びになることゝなつたが、右法律案は左の如き內容が盛られてゐる

一、名稱 大体通商擁護に關する法律案とする

二、目的 政府は帝國通商擁護、國際收支の均衡を圖るため必要あるときは議會の議を經た勅令を以て關稅の新設或は變更或は輸出入の制限乃至禁止することを得の條文を設け議會の組織權限は別に勅令を以て定められる

三、本法の施行期間は五ケ年とす

四、罰則規定 外國爲替管理法の設置規定を運用する他これに多少の新令を加へる

五、施行範圍は內地の他朝鮮臺灣、南洋を含む

綿業代表松平大使に
會商の結果を報告

〔ロンドン一日發國通〕日本綿業團代表は一日午後松平大使を訪問し二十八日の日英會商の結果を報告した、仄聞するに松平大使の手許には日英會商の斡旋方に就き輕い意味の訓令が本省より來て居るが右會見の際には大使はこれに觸れなかつた

外務省異動

〔東京國通〕外務省人事異動は二日左の如く發表された

情報部第一課長 外務書記官 天城 篤治

任外務書記官 調査部第一課長を命ず 領事（ロスアンゼルス）佐藤 敏人

情報部第一課長を命ず 大臣官房人事課長 外務書記官 三谷 隆信

任大使館一等書記官 佛國在勤を命ず 總領事兼公使館一等書記官 日高信六郎

任外務書記官 大臣官房人事課長を命ず

前北平在勤一等書記官中山詳一氏は近く歸朝を命ぜられ、その後任としては目下歸朝中の元サンフランシスコ總領事若杉要氏が任命される筈

天氣と氣溫

二日の氣溫最高零下三度、最低零下十三度四、三日の天氣北西の風晴れ

ライオン歯磨

大滿洲帝國萬々歳

五彩の國旗は翩飜として
今日の佳き日を慶祝す
戸毎のライオン歯磨は常に
各家庭の健康を保障す。

品質優れたライオン歯磨で毎日
歯をよく磨き歯を丈夫に保てば
健康は期せずして得られ日々朗かに
雄々しく活動する事が出來ます

ライオン歯磨本舗
株式會社 小林商店
東京・大阪・名古屋

88—57